

「企業参加による新しい防災コミュニティづくりに関するシンポジウム」のご案内

近年、公共空間美化の分野では、河川敷や道路の清掃を企業や住民がボランティアで行う社会システムとして「アダプト・プログラム」が注目されています。そこで、「アダプト・プログラム」の利点をうまく防災分野に導入し、企業や住民をもっと防災活動に積極的に参加していただく方策を検討しました。

今回のシンポジウムでは、地域防災活動に関わる企業参加の現状と課題の報告や、今後の企業参加による新しい防災コミュニティづくりのあり方を考えるものです。

ご多用中とは存じますが、是非とも多数ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

なお、ご参加いただける場合には、本申込書をFAX又はメールにてご返送ください。

◆日時 平成24年9月4日（火）13:30～16:00

◆場所 工学院大学3階 アーバンテックホール（新宿区西新宿1-24-2）

◆プログラム

第1部（13:30～14:40）

- 1 主催者挨拶 中島 宏（公益財団法人 都市防災美化協会 理事長）
- 2 調査結果の概要報告 吉川 忠寛（防災都市計画研究所 所長）
- 3 先進事例の報告 地域防災活動に取り組む企業担当者のご報告

(1) 自社の船舶を活用した地域貢献 株式会社 ミナモ

超高層マンションでは、エレベーター運行が被災生活を支える重要な要素となります。超高層マンションにある企業の地域防災活動をご紹介します。

(2) 団体が保有する敷地・施設を提供する 公益社団法人 九段

アダプト・プログラムでは、企業の社会貢献を示すためサインボードが重要な要件となります。行政がサインボードを作った事例をご紹介します。

(3) 地域防災コミュニティ会議を開催 東京司法書士会

木造密集市街地において、既存の地域住民組織と複数の企業の連携による活動と、今後の取り組みについてご紹介します。

(4) 自分たちの街は自分たちで守る SYM三町会災害連合会

企業参加を促すためにはどのような仕組みが有効か、ここでは、地域の自主防災組織による働きかけの事例をご紹介します。

第2部（14:50～16:00）

1 パネルディスカッション 「企業参加による新しい防災コミュニティづくりのあり方」

コーディネーター 齋藤 實（危機管理勉強会齋藤塾 塾長）

パネラー 吉川 忠寛、先進事例報告者

2 まとめ 村上 處直（防災都市計画研究所 会長）

- ◆参加費 無料（要申込、先着順）
◆主催 公益財団法人 都市防災美化協会、株式会社 防災都市計画研究所
◆共催 工学院大学建築学部、社会貢献学会、危機管理勉強会齋藤塾
（一財）日本造園修景協会東京都支部

.....

参加申込書（恐れ入りますが、平成24年8月31日（金）までにご返信願います。）

貴社名	
ご所属	
ご氏名	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	

（このままお送りください）

FAX 03-3263-7053 メール bousai@lusp.co.jp
株式会社 防災都市計画研究所 竹内 電話 03-3262-6376